

特集



岡山理科大教授・石垣忍



化石に残るけがや病気のあと

豆知識

え？ 恐竜はウイルスで死んだかですって？ うーん。現在の野生動物たちもウイルスその他の伝染病で大量死することがあるようですから、きっと恐竜時代もそんなことがあったでしょうね。でもそれが原因でほろぶということはあまりなかったのではと思います。

恐竜を研究する私たちは、現生の動物の解剖もやるんですよ。

え？ なぜ？

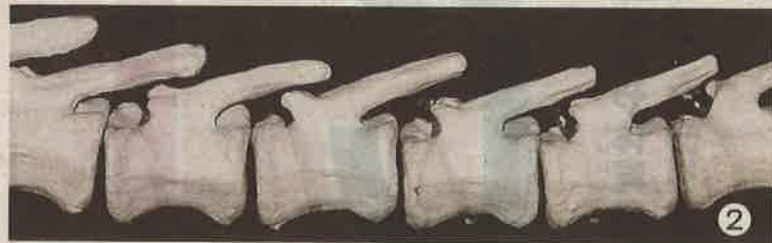
恐竜の骨格と比べたり、化石には残らない筋肉のつき方や内臓などを参考にします。で、いろんな方に「動物が死んだら連絡ください」と頼んでいます。それでときどき、「飼っていたフニが…」とどうもな電話を受けると現場に行き、解剖をします。動物の解剖をしていると、病気やけ

がで変形した骨にときどき出くわします。そんな時は、「ああ、痛かったんだろうなあ」などと同情しながら解剖を続けるんですよ。

実は同じようなことを、恐竜を発掘しながら思うことがあります。全長11メートルの大型植物食恐竜サウロロフスの発掘では、尾の骨に、骨折して治ったあとや変形した骨が見つかりました。たとえば写真①の三つ連続した尾の骨は、一番左の骨は正常ですが、中央と右の



① サウロロフスの正常な尾の骨(左)と、変形した尾の骨(中央・右)。三つは連続した骨です



② サウロロフスによく似た「ムアントロン」の骨折した尾の骨

恐竜の病名が分かるかも



7000万年前にモンゴルにいた恐竜サウロロフス。矢印の部分が尾の骨が変形していたところ(復元造型：林憲次郎)

骨は形が異常です。棘突起と呼ばれる、斜め上につぎだした部分の根元が変形したり(中央)、先が無くて太かったり(右)。正常な骨の並びの例(写真②)に比べると明らかに変です。肉食恐竜にかまれたあとが炎症を起こした？ それとも骨の病気？

「ああ、痛かったんだろうなあ」
実は岡山理科大で恐竜の研究を始めた頃、同じ大学に、現在のヒトや動物の骨の病気を研究している辻極秀次教授がいらっしやることに気がきました。それでいま、一緒に恐竜の骨の病理研究をやっています。皆さんにサウロロフスの病名を伝えられる日が来るかもしれませんね。

お知らせ

恐竜学博物館は6月23日から予約制で再開します。恐竜学博物館で検索。